

## コロナ後について思う

盛夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が始まり半年以上経過してはいますが、いまだ終息が見えてきません。「ウィズ コロナ」は本格的に覚悟しなくてはならない状況です。我々としては、過度に恐れず、やるべき事(感染対策)を実行し、仕事を遂行していきたいと思っております。なにとぞご協力お願いいたします。



代表取締役社長 吉田治伸

さて、これだけ、感染対策期間が長いと我々の働き方だけでなく様々な社会環境が変化していきます。多くの業種で打撃を受けていますが、それ以上にライフスタイルの変化に伴うお客様の業績の悪化は誠に心配するところであります。我々の仕事はあくまでもお客様の需要に応じたものであります。お客様の業績の悪化は、仕事の減額や消滅につながる可能性があるのです。

このような状況で皆様をお願いしたいのは、より一層、お客様やユーザーさんに喜んでいただく、できれば感動していただくことを目指していただきたいということです。リアルコミュニケーションのさいたる仕事である当社の業務は、案外お客様との仲間意識で成り立っております。現在行っている顧客満足度調査でも「良い」以上の評価の事業所は、例えば、清掃であれば清掃をして「お客様に喜んでいただく」という事が実践できている事業所です。逆に「普通」以下の評価の事業所は、例えば清掃をする(言われたことだけする)が最大の目標であるような気がします。

景気は良くなるのは、まだしばらく続くと思います。我々の仕事は決して「不要不急」ではなく「必要」なものであります。現場の皆さんの「笑顔」や「元気」「安心」でお客様やユーザーさんを勇気づけてあげてください。なにとぞよろしくお願いいたします。

暑さは続きますが、お体、お気をつけください。